



(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人御立会	代表者	網島 武彦	法人・事業所の特徴	事業所として、できるだけ利用者様ご家族様の希望に添えるよう、その方の取り巻く環境などに応じ、柔軟にサービスが提供できるよう努めております。法人として特別養護老人ホームを運営しており在宅生活が困難になられた方の受け入れや、医療依存度の高い方の相談もできます。また網島会厚生病院に隣接しており、医療との連携をとり、利用者の方の健康にも配慮させていただきます。
事業所名	小規模多機能ホーム 厚生園	管理者	網島 英彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	申し送りなど、個々の利用者のニーズや課題の把握に努め、適切なケアの提供が行えるよう職員の資質の向上に努める。	申し送りや書面で情報が共有できた。		引き続き、申し送りや会議等で情報を共有し、適切なケアの提供が行えるよう職員の資質向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	開かれた事業所となるよう雰囲気作りを行う。	季節に応じた作品作り、掲示板等で施設内の様子を発信している。	工夫されていると思いますが、発信されているかどうかは分かりません。	地域の皆様の居場所づくりの場となるように努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わりがもてる行事等を検討していく。	コロナ禍により地域との関わりを持つ機会はなかった。	献身的に行われていると思いますが今後はもっと積極的に取り組んで欲しい。	地域との関わりがもてる行事等に積極的に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事を把握し、参加することで顔なじみの関係性ができ、地域の方への事業所を理解して頂く機会とする。	地域への参加なかった。	感染症との兼ね合いもありますが、今後取り入れることも検討をお願いします。	感染状況もみながら、地域の方との関わりが持てるように、参加の機会を検討していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通じ、情報交換し地域課題を共有する。	運営推進会議は定期に行った。地域の情報や事業所の情報共有を行った。	地域情報を確認しながら取り組まれている。	地域住民代表者、家族などを通じ、サービスの質の向上、運営の透明性を確保する。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP 業務継続計画を作成。ハザードマップの確認や連絡網の整備を行う。	ハザードマップの掲示及び周知、緊急連絡網は適宜更新している。事業所内での避難訓練は実施。	十分行われているので継続をお願いします。	BCP 業務継続計画を忠実に履行。ハザードマップの確認や連絡網の実行性を担保する。